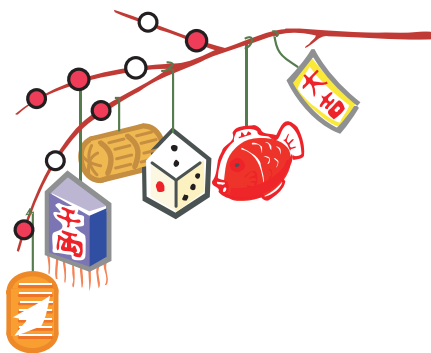


Dohoku  
Nayoro



2014  
No.28  
平成26年1月1日

広報  道北なよろ





## 新年を迎えて

代表理事組合長 中島 道 昭

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えの事と存じ、謹んでお慶びを申し上げます。

また、旧年中は、農協事業への御支援と御協力に際し、格別のご高配を賜りました事、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、北海道では、ここ数年過去に例を見ない大雪に見舞われ、融雪の遅れとともに、五月中旬までの低温・日照不足により耕起・播種・定植の春耕作業が大幅に遅れるなど、皆様方には、営農のスタート時から、大変御心労をなされた事と存じます。

また、六・七月に入ると高温少雨で早魃による生育障害、更に八月中旬から収穫時期の多雨により収穫作業も遅れる等、アスパラを始め、馬鈴薯等にも大きく影響を受け減収を招く結果となりました。特に青果物において一部地域におけるキャベツ・レタス・白菜・スイートコーン

等、八月二十日の暴風雨・降雹による個人的な被害も発生し、青果物全体での計画が下回る結果となった事は、非常に残念な年でありました。

一方で稲作は、春先の天候不順から作業が幾分遅れはしましたが、七月及び出穂・開花期から登熟期全般にわたり良好な気象経過となった事から、稔実や粒の充実により収穫量は平年を上回る結果となり豊作の年を迎えることが出来ました。なお、本年度の作況指数は上川地区一〇五、北海道でも一〇五、全国では一〇二で北海道にあつては三年連続の豊作の年でありました。

さて、農業環境が著しく変化する中、一昨年末の衆議院選挙による政権交代以降、三月十五日のTPP交渉への参加表明、日中韓FTA、日欧EPAの会合など通商交渉が続々と開始されました。特にTPP交渉につきましては、聖域なき関税撤廃からなる完全貿易自由化の問題などJAグループとして、全国・全道・そして上川地区において反対運動を

展開して参りました。然しながら七月二十三日の交渉参加以降、政府は未だ内容を開示せず不透明なまま取り進められているのが現状であります。一方、国内農政について目を向ければ政府自民党・公明党は、経営所得安定対策(戸別所得補償制度)の見直しを検討され、米の直接支払交付金の減額とあわせ、日本型直接支払制度の措置や、飼料用米対策等が強化されました。米の生産調整については、「減反廃止」という誤認に基づく報道などにより、生産現場に大きな不安が生じる事になりましたが、新たな政策の定着状況を見ながら、五年をめどに行政による生産数量目標の配分に頼らずとも国が策定する需給見通し等を踏まえつつ生産者や集荷業者・団体が中心となつて円滑に需要に応じた生産が行える状況になるよう、行政・生産者団体・現場が一体となつて取り組んでいくとの取りまとめとなりました。

農業経済と農協を取り巻く環境が、今後どのように変化していくのか、今なお不透明ではありますが、私どもは、今後とも注意を払いながら、国の農業政策を見守って参ります。そこで問題ある時は、組織を挙げて立ち向かい、また、農民の誇りを次世代につなげ若者達が安心して営農を続けられるよう、協同組合組

織基盤の強化に努めて参ります。

平成二十五年度は「第三次地域農業振興計画・第三次中期経営計画」の実施初年度であり、基本的には減少するであろう農家戸数、地域農業の十年後の姿を目標に見据え、本年度以降、本支所業務体制の再編と出向く体制を柱として構築すべく、実施一年目として、名寄金融店舗の新設・現青果センターの一部増改築等、本年度の竣工を目指し現在取り組んでいる所であります。さらには重点振興作物の一つでもある南瓜選果施設の新設も含め地域農業のブランド化、安全安心な農産物の構築、組合員の所得向上、担い手の確保、施設整備を含めた農協健全経営に向けた第三次振興計画に基づく組合員の利便性と組合員との協議の場等ふれあいをもっと思考しながら今後、地域農業の発展に努めて参りたいと思っております。

最後になりますが、本年も組合員並びにご家族皆様が、ご健康で明るく希望に満ちた年でありますよう、心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





## 平成二十六年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、希望に満ちた平成26年の新春を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。昨年の北海道農業は、天候不順により一部地域で農作業や生育の遅れが生じ、台風や大雨等の被害にも見舞われました。そのような中、各種課題を克服しながら、一年間の営農にご尽力されたことに對して、改めて敬意を表します。

平成25年は、国内外ともに、まさに激動の年でありました。TPP交渉につきましては、3月の交渉参加表明以降、交渉参加反対のもとで、関係機関・団体と連携をはかりながら、各種運動を展開致しました。かねてより懸念していたとおり、情報開示が極めて不十分なか、秘密裏に交渉が進行し、予断を許さない不透明な状況が続いておりますが、自民党並びに衆参農林水産委員会の決議を順守し、状況によっては脱退も辞さない覚悟のもと、それぞれの国の事情に十分配慮した対応がなされるよう、政府・与党への強力な働き

かけと併せ、国民世論形成に向け粘り強い運動を展開していく必要があります。

過般、政府は我が国農政の柱のひとつである米政策を大きく転換し、それに伴い各種助成金体系や経営所得安定対策の見直し、日本型直接支払制度の創設等がなされました。短兵急な政策転換に對して、生産現場では不安と混乱が渦巻いておりますが、改めて生産現場における取組み状況を十分検証しながら、生産者が意欲と将来展望を持って経営展開ができるよう、より実効性のある仕組みを確立していくことが重要であります。また、政府は成長戦略の実現に向けて、農業JA改革を課題のひとつに取り上げ、産業競争力会議や規制改革会議等において関連する議論を行っております。これら規制改革の動きに関しては、農業の役割や生産現場の実態に関する基本的な認識が十分でないことに大きな原因があり、北海道のような農業専業地帯の実情やJAグループの取組み状

況等を十分踏まえた議論がなされ、本道農業の持続的発展に資するような政策が確立されるよう、働きかけを強化していく必要があります。

平成24年11月に開催した第27回JA北海道大会において、「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」について決議致しました。平成26年度は実践2年目にあたりますが、時代の変化を踏まえた中で、JAグループの組織・事業機能の充実強化に向けた自らの取組みを進めつつ、一般消費者に対する情報発信を行いながら、本道農業並びにJAの強力な応援団づくりを進めていくことが重要であります。

国内外の情勢がめまぐるしく変化している昨今であります。今一度足元を見つめ直し、生産者の方々はじめJAグループ関係者の意志と知恵を結集した中で各種課題を乗り越えていくという強い信念と実行力が求められています。

現在の地域農業やJAの基盤を築いた我々の先人も、その時々時代の背景のもとで、さまざまな困難に立ち向かってきたものと存じます。当然のことながら、JA連合会も「組合員の営農と生活を守り向上させる」という目的を踏まえ、最大限の努力を傾注していかねばなりません。

さて、過般、日本の「和食」がユネスコ（国際教育科学文化機関）の世界無形文化遺産に登録される見通しであるとの動きがありました。我が国の食文化の素晴らしさが世界的にも認知されたわけですが、そのことは、素材である我が国の農畜産物が評価されたといっても過言ではなく、日本の食料供給基地である北海道の果たす役割も極めて大きなものがあると存じます。国民の命に直結する農業は、我々の先代が永きにわたり、労苦を惜しまず築き上げてきたものであり、その役割・重要性は将来にわたり、いささかも変わるものではありません。農業は、国家百年の計に立った中で、将来にわたり引き継いでいくべき重要な産業であり文化であります。

今年の千支は、午年（うまどし）です。予断を許さない情勢が続いておりますが、馬のごとく力強く、また、さつそうと駆け抜けていく気概をもって頑張りましょう。

結びになりますが、本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。



## 年頭のご挨拶

代表理事専務 種田 芳雄

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様には平成26年の新春をご家族お揃いで健やかにお迎へのこととお慶び申し上げます。日頃地域農業の振興はもとより農協事業の推進にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成25年を振り返ると平年に比して雪が多く冷え込みの強い冬でありました。4月の雪解けの遅れと5月上旬の天候不順もあって春耕作業のスタートが大幅に遅れました。6・7月は高温・早魃で作物の生育の遅れをまねきました。8・9月は断続的に雨が降り農作物の収穫に大変な苦労がありました。作柄は水稻については作況指数上川105と昨年に続き大豊作となりました。畑作野菜ではアスパラは早魃の影響で減収となりましたが作付面積が増えたスイートコーンを始めますの出来秋となりました。酪農畜産に於いては牧草が雨不足の影響で減収となり、気象変動が大きく飼養管理の難しい年でもあり乳量が計画を下回る

結果となりました。飼料を始め肥料、農薬、温材等々の輸入原料価格は近年高止まりしており、加えて1ドル100円を超える円安が続き生産資材価格をさらに押し上げ農業経営を圧迫しております。厳しい経営環境にあつて生産コストの削減は必須であり飼料、燃油、生産資材価格の抑制に向けた国の対策が必要と考えます。農産物価格安定対策はもとより資材価格高騰対策の早急な取組を系統組織挙げて強く求めてまいります。昨年1年間の組合員皆様のご努力に心から敬意と感謝を申しあげます。

さて、25年度より第3次地域農業振興計画・JA中期経営計画（平成25年度～平成29年度）をスタートさせて頂きました。重点振興作物の推進施策としてアスパラの増反・増収対策、生食スイートコーンの早期栽培対策、馬鈴薯・南瓜の増収技術対策については多くの生産者に取組を頂き次年度につながる技術として期待をしております。JA中期経営計

画にそつて現在取組んでおります南瓜選果施設新設工事は3月完成を目指し進めております。最新の設備によりさらに厳選された高品質な「なよろ南瓜」のブランド力を高め有利販売に努めてまいります。また、名寄支所の老朽化にともない新たに金融共済事務所の新設計画を進めております現名寄支所向かいに建設を予定し5月着工10月完成を目指しております金融共済事業の一層の推進に努めてまいります。現名寄支所の営農課・畜産課については青果センター事務所建物の増改築を行い移転して行います。増改築については1月に着工し5月完成をめざし中旬頃より業務開始を予定しています。施設の集約化を図りより一層業務の効率化を進め組合員の付託に応えてまいります。

安倍政権が発足し2年目を迎えましたアベノミックス効果が問われています。製造業を始め輸出産業は向上しましたが輸入製品や原材料は値上げとなりました。とりわけ農業を取巻く環境は非常に厳しいものがあり円安の影響で飼料を始め燃油、生産資材の高騰とマイナス面が多く表れています。さらには、TPPでの関税の扱い、減反政策廃止に向けた政策の転換等々今後の日本農業の将来を左右する大きな問題が山積して

おり、関税撤廃断固反対と農業が持続可能な政策の実現に向けて農協組織一丸となって取組んでまいります。皆様方の一層のご協力お願いいたします。

良質で安全安心な農産物の生産と消費者に信頼される産地ブランドづくりに組合員皆様と一緒に役職員も頑張つてまいります。なお一層のご指導、ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

本年も豊穰であることと、皆様のご健勝でのご活躍を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。







## 年頭のご挨拶

常務理事 近藤 文隆

新年明けましておめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

日頃より地域農業の振興、農協事業推進にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は雪解け遅れによる春耕遅れ、六月の早魃、八月後半からは連日の雨と組合員の皆さんにはご苦労の一年だったと存じます。その影響でアスパラの減収、馬鈴薯など一部作物に収穫作業の遅れと湿害による品質の低下がみられました。また、畜産においても牧草の収量低下など飼養管理にご苦労があったと存じます。よく「異常気象」という言葉を聞きますが、「異常気象」とは数十年に一回というように稀に現れる気象が様々な災害をもたらす現象を言います。しかしながら、温暖化の影響もあって毎年のように全国各地で大きな被害が発生しており、「通常気象」のように感じられて参りました。そのような天候ではありませんが米の豊作もあり農協総体では計画に近い取扱高になると予想しており

ます。組合員の皆さんのご努力に感謝と敬意を申し上げます。

一昨年末に安倍政権が発足し、アベノミクス（通称）という経済戦略が掲げられ一年余りが経過しました。その結果円安となり自動車産業をはじめとする輸出大手企業はプラスに転じていますが、中小企業や輸入関連業種はいまだに厳しい環境となっておりま。特に農業においては肥料や石油製品、濃厚飼料など輸入ウエートの高い生産資材は高騰を続けております。加えて農業政策も大きく転換しようとしています。T P P交渉が開催され、さらには規制改革会議や産業競争力会議などの政府諮問会議が開催されています。諸外国に負けない国内産業の競争力アップを掲げ規制緩和などT P P交渉に連動した論議がなされてきており、農業においても同様に進んでおります。「諸外国に輸出できる強い日本農業の樹立が必要である。」と発言する方がおりますが、日本の食料自給率（カロリーベース）は

四十%に達しておらず先進国といわれる国の中で最低の水準となっています。数年前まで四十%が目標とされておりましたが、その数値はどこかへ行ってしまった感があります。まずは自給率を向上させることが第一だと思っております。

また、農地制度の見直しも検討されています。いわゆる企業の農地取得、農業への参画です。不耕作地を減らし農畜産物の生産を高めることを目的と言われていますが企業は基本的に営利を第一としております。原発事故や中国のP M 2.5を契機に環境への関心が従前に増している中、特に原発事故処理については諸外国から注目されています。環境を守ることは農地や緑を守ることであり、そのことを最も理解しているのは第一次産業に従事している方々だと確信しております。T P P交渉は年内合意に至りませんでした。今後とも皆様とともに注視しなければならぬと思っております。

そのような中、農協では昨年樹立いたしました中期経営計画に基づき南瓜選別施設の更新、現青果センター事務所改修と名寄支所金融共済事務所の新設に向けた作業を進めております。当地区の農畜産物は組合員の皆様のご理解、ご努力により実需より高い評価を得ております。

環境問題同様、食の安心・安全は一層高まり昨年報道された食品表示偽装を筆頭にコンタミ問題など供給する側の責務は年々増しております。今回の更新により「より均一化と品質向上」を図り当地区の南瓜に対する「更なる安心・安全」への理解が得られるものと考えております。また、青果センター改修により業務の効率化、組合員の皆さんの負託に応えるよう取り組んで参ります。

最後になりますが、組合員の皆様はじめご家族の皆様のご健勝、ご多幸と豊穣の秋を迎えることができま。すようお祈り申し上げます。





## 年頭のご挨拶

上川農業改良普及センター名寄支所

支所長 渋谷 幸平

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、新春をご健勝で迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は融雪の遅れと春先の天候不順で、水稻、畑作物の播種や植え付けが大きく遅れ、その後の生育が心配されました。5月下旬からは天候が回復し、各作物とも生育は徐々に平年に追いつく状況になりましたが、6月から7月は少雨に経過し、特に豆類の萌芽むらが見られたり、畑作物の生育が停滞したりしました。8、9月は一転して長雨が断続的に続き、水稻を始め馬鈴しょやスイートコーン、かぼちゃなどの収穫に苦慮する年となりました。酪農経営においても、牧草が生育期の干ばつや収穫期の天候不順の影響で十分な確保が出来ず、配合飼料が依然として高騰している環境において生乳生産の維持と言う点だけでなく経営面でも心配される年となりました。しかし気象のきびしい中において、もち米は3年続きの豊作となり、畑

作物、園芸作物とも総じて一昨年を上回る生産実績となりました。皆様方のご努力に敬意を表させて頂きたいと思います。

昨年の農耕期間(5月～9月)における名寄アメダスデータでは、積算温度は平年対比で4%高く、降水量は27%多く日照時間は6%短いと言う結果になっています。降水量と日照時間については、8月以降の天候不順が数値に大きく現れており、大変偏りのある気象経過となりました。営農における対応が難しくなっていると感じていますが、一層の基

本技術の励行が大事だと思っています。例年、融雪促進から始まり早めには場の準備を行い適期に播種や植え付けされたほ場では、多収を上げている事例が多く見られます。また、集中的な降雨や長雨に対しては、排水対策の徹底が不可欠になります。

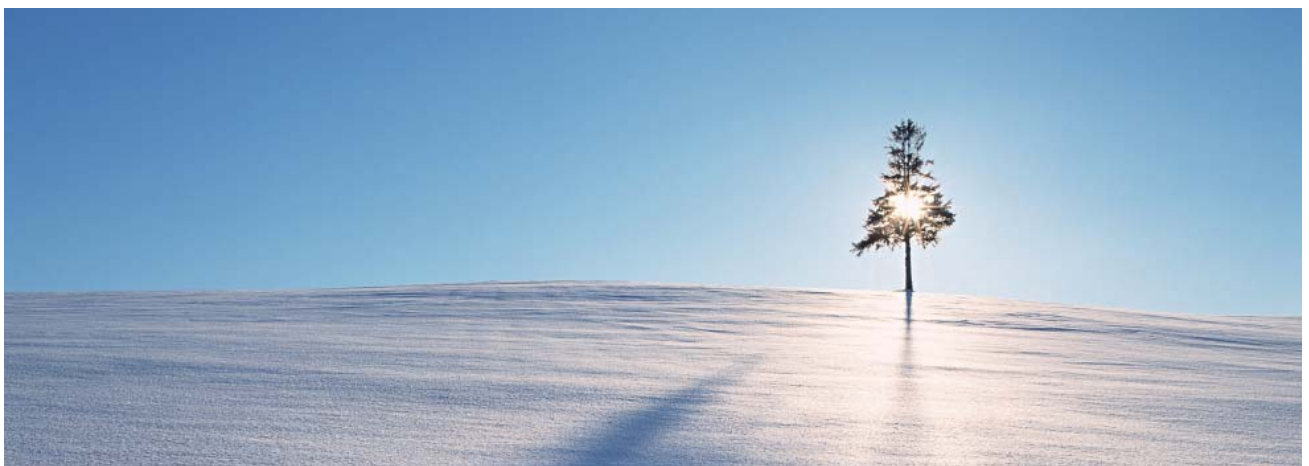
また、昨年も異常気象による気象災害が頻発しました。気象変動による農業経営へのリスクをなるべく軽減するには、複数作物の生産による

複合化が有利になると思われます。名寄においては水稻を中心として畑作物や園芸作物による複合経営が多くを占めています。今後も、地域の気象や土壌、経営条件を十分考慮して作物を選択し、経営の安定化を目指すことが大事だと思われま

す。世界的にも、異常気象や新興国の需要の高まりなど食料自体が国家の戦略として重要なものとなっています。また、安全な食料に対するニーズも高まっています。国内の食料自給率の向上とともに、安全な食料を供給する取り組みが一層求められるものと思われま

す。日本農業をどう守って行くか、新しい農業施策も含め先の見えない時代になっていますが、安全安心そして安定供給と言う北海道農業の目指す姿は、変わらぬものと思います。

今後とも、所員一丸となって有益な技術情報を提供できるよう、皆様や関係機関のご協力をいただき努力して参りますのでよろしく願います。今年が豊穰で、名寄市農業にとって一層の飛躍の年になることを祈念しまして年頭のご挨拶いたします。



謹賀新年

平成二十六年元旦

## 道北なよろ農業協同組合

|         |       |          |      |
|---------|-------|----------|------|
| 代表理事組合長 | 中島道昭  | 理事（購買）   | 米澤俊一 |
| 代表理事専務  | 種田芳雄  | 理事（営農）   | 山崎一浩 |
| 常務理事    | 近藤文隆  | 理事（購買）   | 伊東浩次 |
| 総務委員長   | 清水清隆  | 代表監事（常勤） | 清水秀満 |
| 営農委員長   | 村上清   | 監事       | 鷺田友貴 |
| 購買委員長   | 佐々木昭二 | 監事       | 金子孝雄 |
| 理事（総務）  | 平間富雄  | 監事       | 大内茂喜 |
| 理事（営農）  | 小川健二  |          |      |
| 理事（購買）  | 中村耕司  |          |      |
| 理事（営農）  | 遠藤俊博  |          |      |
| 理事（営農）  | 清水和彦  |          |      |
| 理事（営農）  | 小川和則  |          |      |
| 理事（総務）  | 東野秀樹  |          |      |



道北なよろ農業協同組合

[illegible]



# 迎春

平成二十六年元旦

## 長葱部会

部会長 永井健一  
副部会長 今村芳彦  
山口耕平

## 智恵文馬鈴薯機械利用組合

組合長 遠藤貴広  
副組合長 越孝則

## うるち米生産組合

組合長 安達啓治  
副組合長 今村芳彦

## 西瓜・苺・メロン部会

部会長 阿部和浩  
副部会長 石谷邦明

## 智恵文コーンハーベスター

組合長 橘義孝  
副組合長 山本恵

## JA道北なよろ酪農部会

部会長 水間友幸  
副部会長 平間孝宏  
佐藤信明

## JA道北なよろ青年部

部長 山家智彦  
副部長 遠藤貴広  
高橋尚幹

## 南瓜部会

部会長 桶谷進  
副部会長 南原政幸  
幕田敬一

## ピーマン部会

部会長 日野勇一  
副部会長 永井博宗

## 智恵文コントラクター利用組合

組合長 山口淳  
副組合長 池田大介

## JA道北なよろ畜肉部会

部会長 鈴木木正  
副部会長 沖沢実

## JA道北なよろ女性部

部長 上口里美  
副部長 矢吹祐子  
島田信子

## 葉菜部会

部会長 山本守幸  
副部会長 越孝則

## トマト部会

部会長 住田信幸  
副部会長 齋藤覚

## JA道北なよろ外国人技能実習生 受入協議会

会長 島田日出男  
副会長 阿部克彦

## JA道北なよろ酪農ヘルパー 利用組合

組合長 佐藤文博  
副組合長 水間博文  
尾関章一

## JA道北なよろ女性部

名寄支部ひまわり  
代表 鈴木ちはる  
副代表 阿部祐美

## 百合根部会

部会長 後藤忠一  
副部会長 廣島俊一

## ピヤシリアスpara研究会

部会長 宮下昌樹  
副部会長 松下良行

## 名寄市もち米生産組合

組合長 伊賀敏彦  
副組合長 村中洋一  
泊り雅幸

## 風連町酪農振興会

会長 金原勇作  
副会長 大村一秋

## JA道北なよろ女性部

智恵文支部六花の会  
代表 伊東亜希子  
副代表 川辺幸恵

## コーン菜組合

組合長 木之内薫  
副組合長 武田修一

## 加工馬鈴薯部会

部会長 北野智明  
副部会長 五十嵐真吾

## 風連支部

支部長 伊賀敏彦  
副支部長 桶谷繁志  
書記長 泊り雅幸

## 風連馬事振興会

会長 渡辺孝  
副会長 山崎吉晴

## グリーンアスパラ部会

部会長 木田芳夫  
副部会長 後藤晴正  
磯田豊

## 花き生産組合

組合長 柿川博暁  
副組合長 泊り雅幸

## 智恵文種馬鈴薯部会

会長 西桜敏広  
副会長 佐久間博之

## 名寄支部

支部長 村中洋一  
副支部長 岡元政美  
水間健詞

## JA道北なよろ利用者 年金友の会

会長 安達住義  
副会長 泉谷昭夫  
柴田幹造



|            |      |     |         |      |     |
|------------|------|-----|---------|------|-----|
| 風連町農民連盟青年部 |      |     | 智恵文農民連盟 |      |     |
| 委員長        | 副委員長 | 書記長 | 委員長     | 副委員長 | 書記長 |
| 齋藤         | 菊池   | 藤垣  | 岩崎      | 斉藤   | 川辺  |
| 覚          | 亮    | 修   | 降       | 正光   | 勝重  |
|            |      |     | 彦       | 公    | 阿部  |



|       |       | 12月30日(月)    | 12月31日(火)    | 1月1日(水) | 1月2日(木)    | 1月3日(金)    | 1月4日(土)      | 1月5日(日)    | 1月6日(月)      | 1月7日(火) |
|-------|-------|--------------|--------------|---------|------------|------------|--------------|------------|--------------|---------|
| 風連本所  | 金融共済  | 8:45～16:30   | 休業           | 休業      | 休業         | 休業         | 休業           | 休業         | 8:45～16:30   | 平常通り営業  |
|       | (ＡＴＭ) | (8:45～18:00) | 休業           | 休業      | 休業         | 休業         | (9:00～15:00) | 休業         | (8:45～17:00) |         |
|       | スタンド  | 7:00～21:00   | 7:00～18:00   | 休業      | 8:00～18:00 | 8:00～18:00 | 7:00～21:00   | 7:00～21:00 | 7:00～21:00   |         |
|       | (ピット) | (8:30～17:30) | (8:30～12:00) |         | (休業)       | (休業)       | (8:30～17:30) | (休業)       | (8:30～17:30) |         |
|       | 他業務   | 8:45～17:00   | 休業           | 休業      | 休業         | 休業         | 休業           | 休業         | 休業           |         |
| 名寄支所  | 金融共済  | 8:45～16:30   | 休業           | 休業      | 休業         | 休業         | 休業           | 休業         | 8:45～16:30   | 平常通り営業  |
|       | (ＡＴＭ) | (8:45～18:00) | 休業           | 休業      | 休業         | 休業         | (9:00～15:00) | (休業)       | (8:45～17:00) |         |
|       | スタンド  | 7:00～21:00   | 7:00～18:00   | 休業      | 8:00～18:00 | 8:00～18:00 | 7:00～21:00   | 7:00～21:00 | 7:00～21:00   |         |
|       | (ピット) | (8:30～17:30) | (8:30～12:00) |         | (休業)       | (休業)       | (休業)         | (休業)       | (8:30～17:00) |         |
|       | 他業務   | 8:45～17:00   | 休業           | 休業      | 休業         | 休業         | 休業           | 休業         | 休業           |         |
| 智恵文支所 | 金融共済  | 8:45～16:30   | 休業           | 休業      | 休業         | 休業         | 休業           | 休業         | 8:45～16:30   |         |
|       | (ＡＴＭ) | (8:45～17:00) | 休業           | 休業      | 休業         | 休業         | (9:00～12:00) | (休業)       | (8:45～17:00) |         |
|       | スタンド  | 8:45～17:00   | 休業           | 休業      | 休業         | 休業         | 8:45～12:00   | 休業         | 休業           |         |
|       | 他業務   | 8:45～17:00   | 休業           | 休業      | 休業         | 休業         | 休業           | 休業         | 休業           |         |

## JA道北なよろ青年部 学習会・収穫祭

11月22日、JA道北なよろ名寄支所大会議室にて青年部学習会と収穫祭が開催されました。学習会では講師として、名寄市議会議員

年に引き続き上映されて部員から賞賛の声が聞かれ、終始大盛況のうちに幕を閉じました。

である山田典幸市議ならびに、JA道北なよろの役員である伊東浩次理事・鷲田友貴監事・金子孝雄監事の4名にお越し頂きました。事前に青年部員からいくつかの質問があった内容について講師の方々に答えて頂きながら対話形式で約2時間にわたり行いました。部員は皆真剣な表情で講師のお話に耳を傾け、活発に質問や意見交換が行なわれておりました。続いて行われた収穫祭では青年部とJA職員合わせて約60名が参加しました。青年部員による余興としてオリジナルイベントを開催するなど、楽しい一時を過ごしました。



## JA道北なよろ青年部 全道JA青年部大会

12月5・6日、札幌パークホテルにて第62回全道JA青年部大会が開催されました。全道各地から約600名の青年部員が集結し、1日目は青年の主張大会・活動実績報告大会・分科会が行われました。その後の全体懇親会では、毎年恒例の各地区代表によるアームレスリング大会と今年が初開催となる純農BOY北海道オーディションが行われました。

2日目は、各地区の青年部が制作した1分間CMコンテスト・JA道青協による農村ホームステイ実施報告会が行われました。その他にも、野口観光株式会社代表取締役社長の野口秀夫氏による講演会が行われ、皆真剣に耳を傾けていました。

その後の本大会では、前日より行われていた各種大会の表彰等が行われた後、各地区会長全員によるTTPP反対決議が採択されました。





## JA道北なよろ女性部

## 『Bブロック研修会』を終えて

智恵文支部副支部長 宮田 伸子

上川管内JA女性部上川北部Bブロック研修会が、なよろの「よろーな」で11月18日、開催されました。

今年度は、智恵文支部の担当です。

今まで、この研修会には、何度か参加させていただきましたが、役員として研修会を企画していくのは初めての経験でした。

支部長、副支部長、班長が集まって役員会で、事務局もまじえいろいろな意見を出しあって、日程、場所、講習会の内容などを話し合いました。

当日はまず島田支部長、種田専務の歓迎挨拶から始まり講演に移りました。

講師に名寄市立天文台台長塩田昌彦氏を招いて『南相馬市の現状と災害から学ぶこと』と題して、講演をしていただきました。

実際に現地に出向いた上での貴重なお話が聞けたと思います。

続いて各単組の支部長さんにそれぞれの支部紹介をしていただき、いろいろな活動内容などがわかりました。

午後からはカルビーポテトの馬場さんの楽しいお話に会場も湧きました。続いて『あっぱれ君』を用いた心肺蘇生講習会』と題して名寄市立大学

保健福祉センター長の大見先生に講習をお願いしました。

全員が「あっぱれ君」を使ってスライドを見ながらのわかりやすい講習で、講師の大見先生に活発な質問も出て、部員の皆さんの関心の高さも伺えました。

次年度当番である、JA北はるか的美深支部長に御挨拶いただき、すべての研修が終了しました。

この研修会を終えて今思うことは、当番支部として皆さんを迎える緊張感、難しさを実感し、終わった時のホッとした気持ち、達成感等いろいろな面で良い経験をさせていただきました。

最後にたくさんの方の部員の方に参加していただきありがとうございました。

出席してくださった方々にとって有意義な研修会であったのなら幸いです。



## JA道北なよろ青年部

## 『道外視察研修』を終えて

林 慶三

11月25日から11月29日の日程でJA道北なよろから7名、JA上川地区青年部協議会から8名、JA北びびきから2名の計17名が道外視察研修に参加しました。

1日目は大阪までの移動でした。悪天候の影響もあり、予定より遅い到着でしたが、大阪の宿泊先に着くとすぐ、参加者全員で乾杯し交流を図りました。

2日目はホクレン大阪支店、神明精米、JA全農青果センターの3カ所を視察しました。

ホクレン大阪支店との意見交換会では、「ななつぼし」「ゆめぴりか」などの北海道米が、広告・チラシ・CMによる商品PR、試食販売により関西の消費者への評価が高まっている状況を説明していただきました。しかしながら近年は、米穀の需要量が減少して民間在庫が増え続けている状況であります。私たち生産者が、安心・安全なお米を提供し、もっとお米の消費拡大を広めていくことが大切だと思いました。

2カ所目の神明精米は、精米業・米穀の販売・包装資材の販売を行い、全国で6工場が稼働しています。また、ホクレン大阪支店の販売先の75%を占めているとのことでした。

私たちは、全国に6工場ある中で、西宮浜工場・西宮サイロの視察をさせていただきました。工場内は従業員が保護服・保護帽を身に着けていて、週に一度は工場全体を清掃、清潔に保たれていました。光学式選別機など先進機器も積極的に取り入れ、高品質な製品作りをしていました。ちょうど包装機の見学で、北海道の「ななつぼし」が製品化されていて嬉しく思いました。これだけ大きな施設だと、すべて全自動の機械で稼働しているものだと思ったのですが、そうでもなく、従業員が配置され、手作業で業務している力所もありました。

3カ所目はJA全農青果センター株式会社の大阪センターとの意見交換・施設視察でした。大阪センターでは、開業以来40年にわたって取組んできた予約相対取引や包装作業・商品企画提案など、大阪センター独自の機能が産地・販売先から支持され、半径50km圏内にある大阪・京都・神戸等の関西主要都市のほぼ全てを商圏とし、この地域の主要な量販店・生協と取引しています。その中で今回は、包装加工事業について担当者の方から詳しく説明をいただきました。包装加工機能は、センター内に5工場、センター外に3工場、パート400人超の体制で1日約25万点の最大処理能力を有しており、年間約4,500万点の包装加工を行っているとのことでした。施設視察では、トマトの包装加工の様子と包装した際に貼るシールを作成している事務所を案内していただきました。事務所にはシールを作成する機械が2台設置しており、シール1枚で生産情報公表JASを満たすものでした。商品に対してシールが完成して

も多めには印刷せず、受注個数分のみ印刷しているとのことでした。それは間違えて他の商品に貼るのを防ぎ、最近ニュースや新聞で問題になっている食材の生産地の誤表示を徹底的に無くすためでした。また、包装の仕方やシールのデザインの工夫次第で野菜の見た目が、大きく変わるものだと感じました。

3日目は香川県琴平町にある、金毘羅山に立ち寄り参拝をしました。昼食に香川名物讃岐うどんを食べた後、瀬戸大橋を通過し岡山県へ向かいました。この日の研修は、岡山県JA青壮年部協議会との意見交換・職場視察でした。視察圃場先は、面積60haで水稻を作付けし、その内20haほどの面積で小麦との二毛作を行っていました。温暖で穏やかな気候を利用して、この地域では二毛作が主流らしいです。私たちが視察に行った11月下旬は稲刈りが終わり、小麦を蒔く畑作りをしている時期でした。また、乾田直播にも取り組んでおり、農繁期の作業の省力化で大面積栽培も可能にしていました。しかも今年の高温気候で田植えより、直播した水田の方が反収があったそうです。意見交換会では、上青協が作成したDVDを上映し、北海道の水稻・小麦の農作業の様子を見てもうりました。

青壮年部の方たちは、20aほどの圃場が主流と言う岡山県に対し、1ha越えも珍しくない北海道の圃場を観て驚いていました。特産品を聞くと岡山県は施設園芸も盛んで、黄ニラ・トマト・ナスなどの野菜、いちご・梨などの果実があると教えてくれました。意見交換会終了後は、全員で懇親会を開き、お酒を交えてさらに深い農業の事や趣



味等の話で盛り上がりました。

4日目はJ A鳥取中央、J A鳥取いなば直売所愛菜館を訪れました。5日目の最終日は研修の日程は組まれていないので、この日が実質最後の研修でした。J A鳥取中央との意見交換会では、あぐりキッズスクールについて詳しく説明をいただきました。あぐりキッズスクールとは、J A鳥取中央が平成16年より未来を担う子供たちに農業体験を通して「農業の大切さ」「食べることの大切さ」「いのちの大切さ」を伝えるため、各種関係団体と連携を図り、農業体験学習に取り組んでもらう活動のことです。この取組みの背景には、子供が農業に携わる機会が減っている、地元になんか農産物があるか知らないという実情があります。これは農業を主幹産業としている北海道でも同じことが言えると思います。月に1度、計12回のカリキュラムを実践し、取組みの成果としてはJ A管内の特産物に対する認識が高まり、自分たちが普段食べているものが、農家の工夫、苦勞によって作られていることを理解してもらえるようになったとのことでした。あぐりキッズスクールについて、今回の研修で初めて知ることが出来たのですが、この素晴らしい取組みに非常に感心しました。J A鳥取いなば直売所愛菜館の視察では、野菜出荷の際の規則並びに取り決め事項が厳しく徹底されており、また、残留農薬検査室の設置など、食品の安全性や消費者に対する信頼性の向上に向けた取組みが盛んに行われていました。

5日間の研修を通して、私自身、見習うところ、考えさせられるところの多いお話ばかりで、非常に刺激を受けて北海道に戻ってきました。この経

験をこれからの営農に生かすことはもちろん、新たなことにチャレンジ・取組む必要性も重要だと実感しました。



## JA道北なよろ女性部

## 視察研修に参加して

本部監事 横山 澄枝

11月13日、14日朝少し雪が積もり心配しましたが、事務局を加え33名元気に名寄を出発しました。

最初の視察は北広島市にある道新総合印刷本社工場「フムフム館」でした。社員数約1500人、記者は全国各地、海外も含め約600人。高速輪転機で新聞が印刷され、各販売店へそれぞれの部数に束ねられトラックに載せられるまで20分ぐらいだそうです。

ほとんど機械ですが、やはり大事な所は人間の目でチェックしています。1部の新聞が出来るまで大勢の人が携わっているのだとつくづく思いました。帰りには、最初に撮った写真を入れた新聞を頂いてとても感激です。

その後千歳で昼食をして、次はカルビー千歳工場の視察です。

「カルビー」という社名は「カルシウムの「カル」とビタミンB1の「ビー」を合わせ付けられたと言う事でした。最初に商品として作ったのが、かっぱえびせん、1970年代からポテトチップスを作るようになり商品はたくさんありますが、千歳工場で作られているのは、「ポテトチップス」「じゃがポックル」「堅あげポテト」の3種類で、じゃが芋を洗う所からポテトチップスが出

来るまでの行程を見ながら説明して頂きました。

私が一番驚いた事はポテトチップスを作る時なるべくゴミを出さないという事です。材料のゴミは家畜のえさや畑の肥料として、揚げる油は常に足していく事でいつも油は新鮮なうちに使い切りました。将来の事まで考えている会社なのだと思います。カルビーに出荷している契約農家の方も初めて見学したと言っていました。

視察2ヶ所を終え宿泊先は、テレビでも放映されている洞爺湖町のザ・レイクビューTOYA乃の風リゾートです。

建てて1年目という事もありきれいでとても素敵なホテルでした。

部屋から見える洞爺湖とちょっと雪化粧した羊蹄山を眺める事が出来、心も身体もリフレッシュする事が出来ました。

14日、ホテルを出発して千歳で昼食してむかわ



町にある「穂別地球体験科学館」での体験。私は体調が少し心配でしたので体験はしませんでした。が、体験した人達の話では、8つのゾーンで46億年の地球時間を熱帯雨林から砂漠と氷河など実際の映像と温度が体験でき「良かった」と言っておりました。

視察が全部終わり、無事名寄に帰って来て、今回の視察はどこも初めての所ばかりで、とても勉強になりました。

来年は少しでも多くの人に出席して頂ければと思います。



## 第35回 なよろ産業まつり

9月1日、「第35回なよろ産業まつり」ももち米日本一フェスタ」がなよろ健康の森特設会場で開催されました。35回目を迎えた今年は、商工会議所青年部の北海道ブロック大会が名寄市で行われたこともあり、もち米作付面積日本一をアピールするもち関連イベントのみならず、地元の新鮮野菜や果物、花卉をはじめとする各販売コーナーにもより一層力が入り、約6,000人の来場者が家族や友人たちと一緒に楽しい時間を過ごしました。

名寄市やJA道北なよろで組織する実行委員会が主催となり、午前9時半からの開会式からステージ前には多くの来場者が集まりました。加藤市長の挨拶の後、風連御料太鼓保存会の勇壮な太鼓演奏で開幕致しました。続いて、恒例の人気企画となっている豪華景品が当たる懸賞付餅まきや、子供用の杵および臼を使ったちびっこ餅つき、7代目もち大使の称号を懸けて戦う「なよろもちつきチャン

ピン決定戦」等様々なイベントが行われました。会場では、こちらも恒例のトントンコーナー、牛の丸焼きコーナー、農業機械展示コーナー、赤福・きびだんごの販売等の多彩な催しが行われ、午後からは2人1組で一輪車を押して、障害物を乗り越え順位を競う「一輪四脚レース」が行われて各チームが旬の農畜産物を狙って汗を流し、観衆からは大きな声援が送られていました。

今年も会場には多くの来場者が訪れ、楽しいイベントに笑顔を輝かせながら大盛況のうちに幕を閉じました。



## 地産地消フェアinなよろ

12月7日、今回で第8回目を迎えた2013地産地消フェアinなよろが名寄市民文化センターで開催され、名寄市民をはじめ約1500人が来場し賑わいました。

会場では様々なイベントが催され、農畜産物の試食などを通して、名寄市の基幹産業である農業や、大きく注目を集める地産地消に対する理解を深めました。本年夏に行われたなよろ産業まつりで決定した7代目もち大使による餅つきの他、名寄産うるち米「こめごころ」の無料配布や、牛乳・牛肉・豚肉激安限定販売、746煮込みジンギスカンによる新ご当地グルメの「なよろ煮込みジンギスカン」の販売、JA女性部等による雑煮やおこわやながしだんごの試食、JA青年部によるどん菓子の実演の他、手打ちそば愛好会によるそば打ち実演も人気を集めました。毎年恒例行事である「アイディア料理コンテスト」では、名寄産農産物でもち米・南瓜・じゃがい

も・ゆり根の中から1種類以上を使うことがルールで、沢山の応募作品の中から審査が行われました。最優秀賞には小村里美さんの南瓜・百合根を使った「名寄の夏色冬色」が最優秀賞に選ばれました。



## 今号の表紙

今月の表紙は、名寄市風連中央で農業を営んでいる日根野星太さん一家です。

(左から)

星太さん

(子) 澄空くん

(妻) 美和さん

写真には写っていませんが、父正敏さんと母 美沙子さんの5人家族です。

(主な作付品目)

水稲・小麦・大豆・蕎麦





## 風連地区で米初出荷

9月20日、J A道北なよろ農産物検査場にて、風連地区の25年度産米の初出荷が行われました。加藤名寄市長やJ A道北なよろ中島組合長のほか、関係者多数が見守る中、風連地区の牧野寛昭さん、高橋勝征さんが丹精込めて育てたお米は道米麦改良協会によって検査が行われました。検査の結果見事全量1等米となり、等級と検査印が押印され初出荷した生産者には関係者から記念品が贈られました。



## 風連中央小5年生 稲刈り体験

9月20日、名寄市にある風連中央小学校5年生児童による稲刈り体験が、風連町中央地区の上口忠さん宅の圃場にて行われました。

田植えから稲刈りまで学ぼうと計画しているもので、地域で農業を営んでいる上口さんから圃場の一部100平方メートルを借り、5月24日に田植えを行い、うるち米「ななつぼし」の栽培に取り組んできました。

27人の児童は、秋晴れのなか額に汗を滲ませながら稲刈り作業に当たり、食物づくりの喜びや苦労を味わいました。



## 名寄小学校

### ひびき合い学習

10月11日、名寄小学校での「ひびき合い学習」の一環としてもち米の脱穀・粃摺・精米体験が行われました。このもち米は名寄小学校3年生の児童たちが6月に田植えを行い、9月に稲刈りを行うなど、学校内の田んぼで丹精込めて育てたもので、当日は約20名の生徒と父母の方が参加し、脱穀機に慣れない手つきで稲穂を入れて粃にした後、粃すり・精米を行うと、米の出来る過程に驚きながら作業を行っておりました。



## 農薬防除技術講習会及び 水稻・畑作栽培技術講習会及び アスパラガス大苗定植栽培技術講習会実施！

11月11日、農協購買課主催で生産資材技術講習会および栽培技術講習会が開催されました。講習会では、上川農業改良普及センター名寄支所の藤木氏、ならびにホクレン旭川支所生産資材課より講師をお招きし、名寄市における水稻病虫害の注意点について、殺虫殺菌剤の苗箱処理について等の講習会が実施されました。

農薬につきましては、除草剤を中心に殺虫殺菌剤等新剤の特性や薬剤の特徴や大型規格使用によるコストダウン化を次年度に向け推進して参りますので購買事業にご協力を頂くと共に宜しくお願い致します。

また、同日にアスパラガス大苗定植栽培技術講習会を実施し、名寄市農業振興センターの宇佐美主任、上川農業改良センター名寄支所の馬場専普をお招きし、アスパラガスの育苗と管理方法等の説明を行いました。



平成25年10月28日、智恵文多目的研修センターにて平成25年度中国農業技能実習生修了式が行われました。74名の実習生が修了式を迎え、酪農の実習生以外の実習生は4月からの7ヶ月間の農業実習を終え、10月30日に元気に帰国しました。

平成25年3月27日以来日し、日本で農業の知識・技術を学びながら日本語の勉強や日本の文化、地域との交流などの実習も行ってきました。

平成25年度  
中国農業技能実習生  
修了式



## わくわく農感塾開催

9月7日、名寄市内にて「わくわく農感塾」が行われました。この「わくわく農感塾」とは、日頃農業に関わる機会の少ない都市部の方々に、農業体験を通じて、農業への理解を深めてもらうという企画です。

総勢35名の参加者は、まず道の駅「もち米の里なよろ」にて開講式を行い、JA道北なよろ中島組合長の挨拶の後、ふうれん地域交流センターにて、つきたての餅とスイートコーンの調理体験を行いました。調理体験の後は、名寄産切り餅がプレゼントとして参加者に配布され、大満足の様子でした。

お昼は、なよろサンピラーにて、名寄産SPF豚・野菜を使用した鉄板焼きと名寄産もち米で作った炊きたての赤飯を食べました。

午後からは、智恵文地区の伊東浩次さんの圃場にてスイートコーン・南瓜・馬鈴薯の収穫体験を行い、慣れない手つきではありましたが、参加者は皆、大満足の様子でした。

伊東さんからのスイートコーン・南瓜・馬鈴薯に関する説明・質問の後、閉講式を行い、参加者は沢山のお土産とともにバスにて帰路の途に着きました。



## 東京杉並区

### とうもろこしまつり

上川管内のJA道北なよろは9月3日～5日東京都杉並区で「とうもろこしまつり」を開催した。杉並区は名寄市と友好交流自治体で、春には「アスパラまつり」を開催しているが、この度振興作物とうもろこしの消費拡大を目的に名寄市の新鮮な夏の味覚を楽しんでいただきました。会場は杉並区役所庁舎前で同区の職員、杉並交流協会、ホクレン販売本部職員にも協力を頂き、名寄産のとうもろこしを販売しているスーパーを紹介したチラシの配布をしてPRも行った。

会場には販売開始の1時間前から多くの方が駆けつけ用意した1,000本と南瓜、玉葱は1時間で完売でした。



## 名寄市もち米生産組合

### 「赤飯の日」をPR

名寄市もち米生産組合は、「お赤飯の日」として制定されている11月23日に名寄市内商業施設・公共施設の4か所において「お赤飯無料配布イベント」を行った。

お祝い事や喜びの日を大切にする日本の食文化と伝統を伝える為、市民へPRするイベントを計画したとの事。

会場は「名寄駅前交流プラザよろーな」「道の駅なよろ」「西條名寄店」「イオン名寄ショッピングセンター」の4か所にて行い、赤飯は「名寄産はくちようもち」を原料に600食を用意。PRパンフレットを添えて市民へ無料配布を実施。

大盛況にてイベントを終えた。同組合の伊賀敏彦組合長は「私たちが心を込めて育て、収穫したもち米を産地からも積極的にPRし、さまざまな行事で使っていただけのように、これからも組合をあげて取り組んでいきます。11月23日は勤労感謝の日ですが、命の糧を神さまからいただくための勤労

を尊び感謝し合うことに由来しております。まさに「お赤飯の日」としてふさわしい日に、このように多くの市民の皆様の名寄産もち米を味わっていただける事を大変喜ばしく思っています。」と話している。



## 南相馬の学校給食へ

### 「はくちようもち」発送

名寄市もち米生産組合（伊賀敏彦組合長）は12月12日、福島県南相馬市の学校給食にと特産のもち米「はくちようもち」を発送した。

名寄市もち米生産組合は昨年より南相馬市へもち米を発送しており、今回で二度目となる。

発送したのは「25年産はくちようもち」7俵（1俵60キロ）で、3,800食分に相当。12月17日に南相馬市学校給食センターへ到着し、名寄特産のもち米を味わってもらう様、12月のメニューに餅料理が取り入れられております。

発送作業を終えて、伊賀敏彦組合長は「今年も美味しい新米が収穫出来ました。是非名寄産のもち米をたくさん食べていただき、食べ物から力が湧いてくることのできればと願って、もち米を送りました。食から子供たちが元気になっただければ幸いです」と語っている。





## 地区別懇談会開催

12月12日・13日の2日間、地区別懇談会が風連・名寄・智恵文各地区で開催されました。はじめに中島組合長より今年の農作物の作柄と農業情勢等の報告があり、次いで今年度の主な事業見込み、中期経営計画にある施設関連の経過等について報告し、組合員の方々の様々のご意見・ご質問がありました。



## 南瓜選別施設新設工事で安全祈願祭

道北なよろ農協（中島道昭組合長）は11日に南瓜選別施設新設工事の安全祈願祭を市内大橋の青果センターで行われました。

現況の選果施設では、処理能力に限界があり、このままでは、作付面積増加のなか、市場の求められる時期に出荷する事が出来なくなる為、産地イメージの低下につながります。また、選別についても、目視での選別ではバラツキがあり、市場や消費者より品質の均一化を求められ、産地ブランド形成のために、選果施設の改修を行う事を決定しました。また、今後契約取引を増加していくなかで、求められるニーズに対応する為、

選果施設については、均質な選別のために、カメラ選別を導入し、バーコード管理にてロット管理を行います。施設整備するにあたり、年間2,500tから4,000tへ施設能力の増強を図ると共に、計画的に選果でき、安定的に出荷出来る事により、市場評価を上

げ、名寄南瓜の地位向上を目指します。

安全祈願祭では、出席者が玉串を奉納し工事の無事を願ったあと、中島組合長が「南瓜は道北なよろの振興作物の一つに位置づけられている名寄の一次産業を守るためには振興作物をしっかり守り抜くことが重要」と挨拶をしました。



## 平成25年度 名寄市もち米生産組合

### 道外実需者研修

11月27日から29日にかけて名寄市もち米生産組合（伊賀敏彦組合長）13名が道外実需先（栃木県・日の本製粉株式会社 群馬県・群馬製粉 新潟県・佐藤食品工業新発田工場）の視察を行いました。

1日目に訪れた日の本製粉株式会社では、24年産については、風の子もちを中心に12,000俵の取扱をいただいております。近年は、和菓子店向けの需要が縮小傾向である事もあり、最近では米粉を使ったロールケーキなど洋菓子向けの商品や米粉を使用したパン等の商品をコンビニ等へ提案して、販路の維持・拡大を行っているとの説明を受けました。

2日目の群馬製粉では、はくちようもちを中心に7,000俵程度の取扱をいただいております。米の粉碎方法や品種のブレンドにより他社製粉会社との差別化を図り、ユーザーへの商品の提案を行っているとのことでした。

最終日の佐藤食品工業では、新潟県にある新発田工場の見学を行

いました。佐藤食品工業では、もち米の使用量は年間15,000tであり、そのうち切り餅として道北なよろ産もち米も600t程度の取扱をいただいております。今回訪問したの実需先でも、道北なよろ産のもち米については高評価を頂く一方で、最近では関西地区食品偽装の発覚以降、都道府県よりさらに詳しく生産された地域までの産地証明をユーザーより求められるケースが多くなっていることもあり、今後安心して安全な良質米の安定供給をお願いされました。





## 理事会の経過

### 第七回理事会

開催日 八月二十八日

- 一、定例監査講評について  
監事報告会報告決定
- 二、組合と理事との契約（貸付）について  
提案通り決定
- 三、自己査定に係る破綻懸念先への貸付について  
提案通り決定
- 四、金融円滑化基本の方針及び管理要領の改正について  
提案通り決定
- 五、畜産リース事業に係る貸付について  
提案通り決定

### 臨時理事会

開催日 九月六日

- 一、名寄市場廃業に伴う経過報告について

### 第八回理事会

開催日 十月二十九日

- 一、自己査定に係る破綻懸念先への貸付について  
提案通り決定
- 二、自己査定に係る破綻懸念先への貸付及び四、〇〇〇万円超の貸付について  
提案通り決定

### 第九回理事会

開催日 十月二十九日

- 一、出資金減口の申出について  
提案通り決定
- 二、内部監査規程の改正について  
提案通り決定
- 三、組合と理事との契約（貸付）について  
提案通り決定
- 四、資産査定について  
提案通り決定

### 協議事項

- 一、名寄市への要請について  
提案通り決定

### 職員の動き

#### 退職

荒井 光義 平成25年12月31日  
購買部農機車輛課農機車輛係  
(風連担当)

大変お世話になりました

### JAのあゆみ

- 8月27日 第4回総務委員会  
27日 第5回営農委員会  
27日 第4回購買委員会  
28日 第7回定例理事会  
9月 6日 臨時理事会  
26日 第8回定例理事会  
10月21日～25日  
全国監査機構監査  
28日 第5回購買委員会  
28日 第6回営農委員会  
29日 第5回総務委員会  
29日 第9回定例理事会  
31日 棚卸監査  
11月12日～15日  
第三 四半期監事監査  
15日 第7回営農委員会  
25日 第8回営農委員会  
30日 棚卸監査



## 組合員資格確認のお願い

平素、当組合の各事業にご理解ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。  
当組合の定款の規定により、組合員の皆さまに組合員資格の変更の有無についてご確認をお願いしております。  
つきましては、下記の事項をご確認の上、組合員資格の変更がありましたら、お手数ですが組員加入いただきました当組合の本支所窓口にて手続きをお願い致します。  
なお、お手続きの際には、運転免許証や保険証などご本人の確認ができる公的書類と印鑑をご持参下さい。

## 記

### ●正組合員資格

- ①50アール以上の土地を耕作されており、その耕作する土地又は住所がこの組合の地区内にある方
- ②1年のうち100日以上農業に従事されており、その住所がこの組合の地区内にある方
- ③農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地が当組合の地区内にある法人

### ●准組合員

- ①組合の事業を利用される方で、その方の住所が組合の地区内にある方
- ②当組合の地区内に勤務地がある方で、当組合員の事業を継続してご利用されている方
- ③当組合員の地区外に住所がある方で、当組合の事業を継続してご利用されている方

## 名寄市農業振興センターからのお知らせ

平成25年度

## 名寄市農業振興センター 事業報告

## ○ 水稻直播栽培試験 ○

- ・乾田、湛水の各栽培法にて、品種比較・播種量比較試験を実施しました。5月の天候不順等で播種作業が遅れ、乾田の発芽期は例年よりも約5日の遅れとなりました。
- ・湛水は5/16播種～発芽6/4、乾田は5/29播種～発芽6/10でした。収穫は10/7で、基準区での収量は湛水で476kg/10a、乾田直播で555kg/10aでした。



## ○ 薬用植物(カノコソウ)除草剤薬効薬害試験 ○

- ・今年度より薬用作物であるカノコソウの栽培試験を実施いたしました。カノコソウは登録除草剤がないため、栽培の労力軽減を目的として関係機関と協力した薬効薬害についての試験を行いました。
- ・トレファノサイド乳剤の土壌処理にて試験を行い、結果は全国の会議で協議されました。現在、登録に向けて手続きが進んでいます。



## ○ かぼちゃ施肥栽培法試験 ○

- ・「ほっこりうらら」についての施肥法（基肥、追肥）の試験を実施いたしました。草勢が強くない品種なので基肥、追肥とも多めの区を設定しました。
- ・基肥が多めの区でも着果数は安定しており、収量も安定しましたが、追肥が多い区ではやや1果重が下がり、収量もやや落ちる結果でした。



## ○ 油糧用ひまわり施肥栽培法試験 ○

- ・油糧用ひまわりの栽培基本技術（栽植密度・施肥量）について試験を実施いたしました。
- ・5月下旬～6月上旬に播種を行い、8月上旬に開花期、9月下旬に収穫を行いました。
- ・近年の試験結果と併せ、油糧用ひまわりの基本となる栽植密度と施肥量の組合せを設定いたします。



## ○ アスパラ品種比較試験 ○

- ・ガインリム（HLA-7）を対照品種としてH22からH25の4年間で調査を行いました。
- ・今回の試験では収量面でガインリムを上回る品種はありませんでしたが、頭が開きにくい、赤根が出にくいなどのガインリムより優れた性質を持つ系統もあり、新たな品種も含め今後も調査を継続してまいります。



振興センターではここに掲載した他にも試験を行っております。上記試験の詳細や、他の試験の結果についてはJA道北なよろホームページの「営農情報」→「振興センター」に掲載いたします。



## 平成26年度の取り組み

☆振興センターでは、平成26年度より名寄の農業に対する提案として、基本である「土づくり」や、技術向上が進んでいる「水稻直播栽培」、名寄の寒さを利用する「冬の農業」についての講座をもうけ取り組みます。また実証試験についても、「もうかる農業」の実践に向け、取り組みを進めます。

### 名寄農業・土づくり講座

農業において土づくりは生産物の収量や品質の向上に向けた基本となる取り組みであり、毎年のように発生する干ばつや長雨等の気象変動に対応するうえでも重要な技術です。

圃場状況を把握し、適正な改良や施肥を継続的に実行することが生産物の高収量化や高品質化、さらに低コスト化にもつながります。

「名寄農業・土づくり実践講座」は、生産者が土壌診断に基づく合理的な土づくりを実践し継続することが生産・販売場面で有益であり、名寄が今後も安定した食糧の生産地として発展する基盤づくりを進めることを目的として開設いたします。

- 圃場の現状調査
- 生産部会と協力した勉強会の開催
- 販売場面での土づくり等の取組アピール など



### 水稻直播栽培研究講座

市内では若手農業者を中心に水稻直播栽培の取組が始まり、5年以上が経過しました。今日、農業者の経営の大型化や、野菜栽培等の複合化による労働配分の適正化、また今後の国際競争に対応したコスト低減等が求められるのが現状です。移植栽培における安定確収技術は確立されていますが、直播に対応した栽培技術については課題が残されています。

この講座では、直播栽培に関心がある農業者を集め、技術情報の紹介や共有化を行う機会を提供するため開設いたします。



### 冬の農業研究講座

本市の農業においては、耕作期間が短い、繁忙期の集中、近年の異常気象等に対応した機械整備や土づくり対策が行われていますが、多くの課題も見えています。

また、冬の農業収入確保の視点から、冬季のエネルギーとしての「寒さ」を活用した農作物栽培の可能性について、寒締めハウレン草などでは「寒さ」が品質向上につながり、東北や道南等でも取り組まれています。

市内でもハウレン草などの栽培実績がありますが、個別の取組のため規模が小さく、市場開拓などが課題となります。

この講座では、関心がある農業者を集め、技術・実需情報の紹介や共有化を行う機会を提供するため開設いたします。



○その他のお問い合わせ・ご質問等は下記までお気軽にどうぞ。

**【名寄市農業振興センター**

**名寄市風連町緑町396-2**

**TEL01655-3-2258】**

丈夫で健全な稲づくりのために  
**【けい酸加里肥料】**を基肥又は  
 秋散布(稲わら鋤込み時等)しましょう！



### 水稻に対する効果

#### ケイ酸の効果

不稔実米を減少させる。

粒張りを良くする。

葉をピンと立たせ光環境を良くし、光合成を促進させる。

茎葉を硬くし倒伏・病害に強い稲を作る。

根の活力を高める。



#### 加里の効果

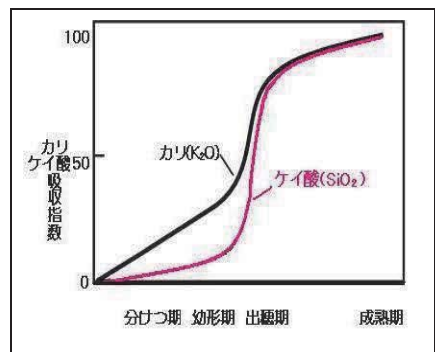
光合成産物(デンプン)の  
 粳への移行を促進する。

日照不足時の光合成を  
 助ける。

稈の強度を高め倒伏  
 に強くする。

根毛の発育を促進する。

水稻は、ケイ酸と加里を特に生育後半で多く吸収し、全吸収量のうちケイ酸の約90%、加里の約70%が幼穂形成期以降に吸収されます

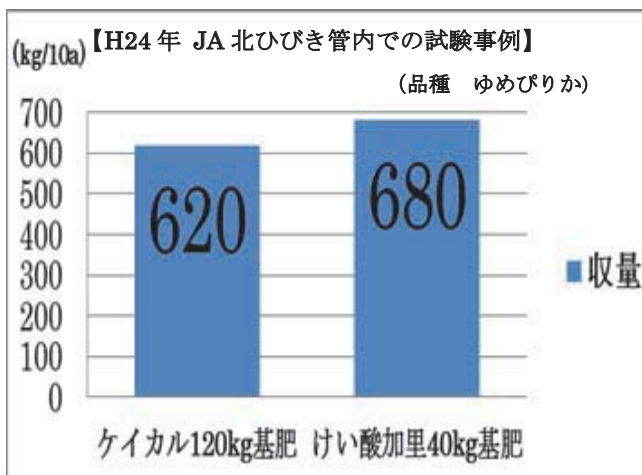


「ケイ酸」と「加里」により大きな効果が生まれます。  
 丈夫で健全な稲を作ることがおいしい米作りの決め手です。

1. 生育後半にむけてケイ酸と加里の補給はとても大切です。
2. けい酸加里は秋散布、基肥散布でも生育後半まで肥効が持続します。

ケイ酸、加里の効果で品質の高いおいしい米になります。

生育良化→登熟向上→米の品質向上→食味向上→米の評価アップ！



けい酸加里肥料は水に溶けず根酸で溶ける  
 溶性加里なので流亡しません。水で流れないので  
 少ない散布量でも効果が持続します。  
 ※加里全量なく溶性なのはけい酸加里だけです。

基肥散布、秋散布でも他のケイ酸資材より  
 1/3, 1/4 の散布量でも効果があります。

水稻におけるけい酸加里の使い方  
 ○基肥 又は 秋散布(稲わら鋤込み時期)  
40kg～60kg(2～3袋)/10a



## くみあいほう素入りけい酸加里肥料20-34

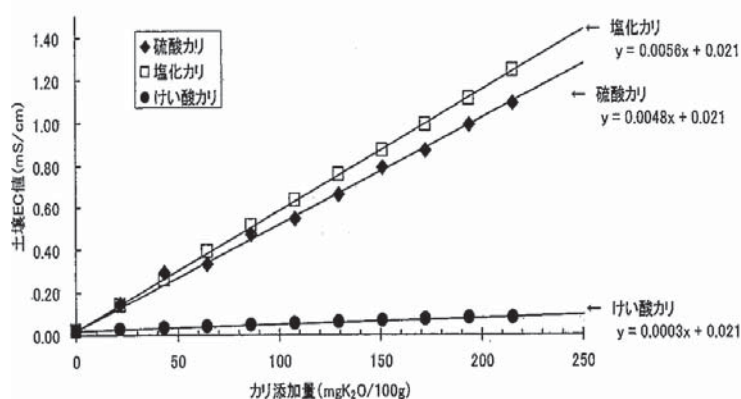
| 保 証 成 分 (%) |      |      |      | 含 有 成 分 (%) |     |
|-------------|------|------|------|-------------|-----|
| カリ          | ケイサン | クド   | ホウソ  | 石灰          | 鉄   |
| < 溶性        | 可溶性  | < 溶性 | < 溶性 |             |     |
| 20.0        | 34.0 | 4.0  | 0.10 | 7~12        | 2~5 |

## けい酸加里の野菜に対する特長と効果

- ① 加里成分は流亡しづらく作物の生育にあわせて吸われるので、健全な作物体を作ります
- ② 土壌のミネラルバランスを整えることで、作物の収量、品質が向上します
- ③ 多量施用しても土壌ECの上昇が少なく、濃度障害を起こし難い環境と作物にやさしい肥料です

カリ質肥料の肥料形態が土壌EC値の上昇に及ぼす影響

(トマトのカリ収支に基づくカリ施肥基準の改訂 2009年北海道指導参考事項より)



## けい酸加里の野菜での使い方

|        |  |                        |    |                                                                                                                                                     |
|--------|--|------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| トマト    |  | 40~100kg/10a<br>(2~5袋) | 基肥 | <p>根の生育が良くなり、丈夫で健全な生育を促します。</p> <p>収量アップが期待できます。</p> <p>特に玉伸びが良くなるため、規格M以上の割合が高まります。</p> <p>糖度が高まり、品質・食味が向上します。</p> <p>カリ肥料の施肥は1回のみで追肥の省力になります。</p> |
| アスパラガス |  | 40~80kg/10a<br>(2~4袋)  | 基肥 | <p>茎数、茎径が増し、収量が増加します。</p> <p>貯蔵根の糖度が上がります。</p> <p>根張りがよくなり、根株重が増加します。</p>                                                                           |
| 大豆     |  | 20~40kg/10a<br>(1~2袋)  | 基肥 | <p>さや数が多くなり、収量増加が期待できます。</p> <p>粒の太りが良く、たんぱく含有率も向上します。</p> <p>根張りが良くなり、養分の吸収が促進され健全な生育になります。</p>                                                    |

| 野菜全般                                     | 施 肥 方 法                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>野菜類</p> <p>40~80kg/10a<br/>(2~4袋)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定植前の基肥もしくは早い時期の追肥が有効です。</li> <li>・ 土に良く混和して下さい。畦に沿って施用すればさらに利用効率が高まります。</li> <li>・ 土壌診断結果にあわせて増減して下さい。</li> </ul> |



上川北部JA統一

キャンペーン期間

平成25.11.5<sup>火</sup>~  
平成26.1.31<sup>金</sup>

# ウインター キャンペーン

さらに今なら!  
「ちょきんぎょグッズ」  
プレゼント!

※数に限りがございます。品切れの場合も  
ございますのでご了承ください。



## 3年定期

店頭表示金利より <sup>プラス</sup> **+0.25%**

**対象商品「スーパー定期貯金及び大口定期貯金」** ●10万円以上新規で預け入れ、または10万円以上増額いただいた方が対象です。●預入期間は3年とさせていただきます。●ご契約いただいた定期貯金は「自動継続扱い」とさせていただきます。満期日以降は上乗せ金利が適用されませんのでご注意ください。●期日前に中途解約されますと、お預入日から中途解約日まで所定の中途解約利率が適用となりますのでご注意ください。●お利息に20.315%(国税15.315%、地方税5%)の分離課税となります。●個人の方に限らせていただきます。●本定期貯金は貯金保険制度の対象となり、同制度の範囲内で保護されます。●商品の説明書は、店頭にお申し出下さい。●当JAでは組合の運動や事業にご理解いただき利用していただける組合員の拡大をおこなうなど組織基盤を強化することを目的として、組合員加入促進を実施しております。すでに当JAをご利用いただいている方、または今後当JAとお取引させていただける方について加入推進の一環として窓口にて組合員加入をお勧めする事を申し添えさせていただきます。

詳しくは最寄りのJA貯金窓口までお問合せください。

【JA道北なよろ】

- |             |               |
|-------------|---------------|
| ■本所金融共済部金融課 | ☎01655-3-2521 |
| ■名寄支所総務課    | ☎01654-2-4531 |
| ■智恵文支所総務課   | ☎01654-8-2111 |

※お申し込みの際は必ず

JAバンク

※裏面もご覧下さい。



# 納屋・農作業所・もみ乾燥場・格納庫にも最適!

風・雪・ひょう災に強い!  
JA共済の

## な や たてこう 納屋建更



- ①火災はもちろん、風害・雪害・地震などの自然災害にも強い!
- ②低廉な掛金で万全の保障を!
- ③掛捨てではありません!

風・雪・ひょうによる被害について、  
**5万円の損害**からお支払い対象となります!  
下のような強風によるシャッターのめくれもお支払い対象です!

《納屋・格納庫・農作業所（もみ乾燥場を除く）》

満期金額**50万円** 保障金額**500万円** 年払掛金

| 期間  | 木造      | 耐火造     |
|-----|---------|---------|
| 10年 | 66,380円 | 57,975円 |
| 20年 | 42,015円 | 33,585円 |
| 30年 | 34,200円 | 25,765円 |

※住宅敷地内に所在する場合の掛金となります。

《もみ乾燥場》

満期金額**50万円** 保障金額**500万円** 年払掛金

| 期間  | 木造      | 耐火造     |
|-----|---------|---------|
| 10年 | 69,680円 | 59,845円 |
| 20年 | 45,370円 | 35,470円 |
| 30年 | 37,575円 | 27,655円 |

※継続後のご契約に適用される約款・掛金率は、継続時における約款・掛金率となります。  
※上記は口座振替扱い契約の掛金です。  
※ご契約の際には「ご契約のしおり・約款」及び「重要事項説明書」を必ずご覧下さい。  
※表記の例に使用した掛金率は平成26年3月31日まで有効です。【13015595012】



(例)

鉄骨造 73坪 坪単価11万円(基礎含)

再取得価額:806万円 損害額:134,715円

シャッター修繕工事 **134,715円**

【仮に建更“むてき”800万円に加入していた場合】

自然災害共済金額: 133,712円

臨時費用共済金額: 40,114円

**173,826円のお支払い**

お問合せは…道北なよろ農業協同組合

本 所: 01655-3-2521

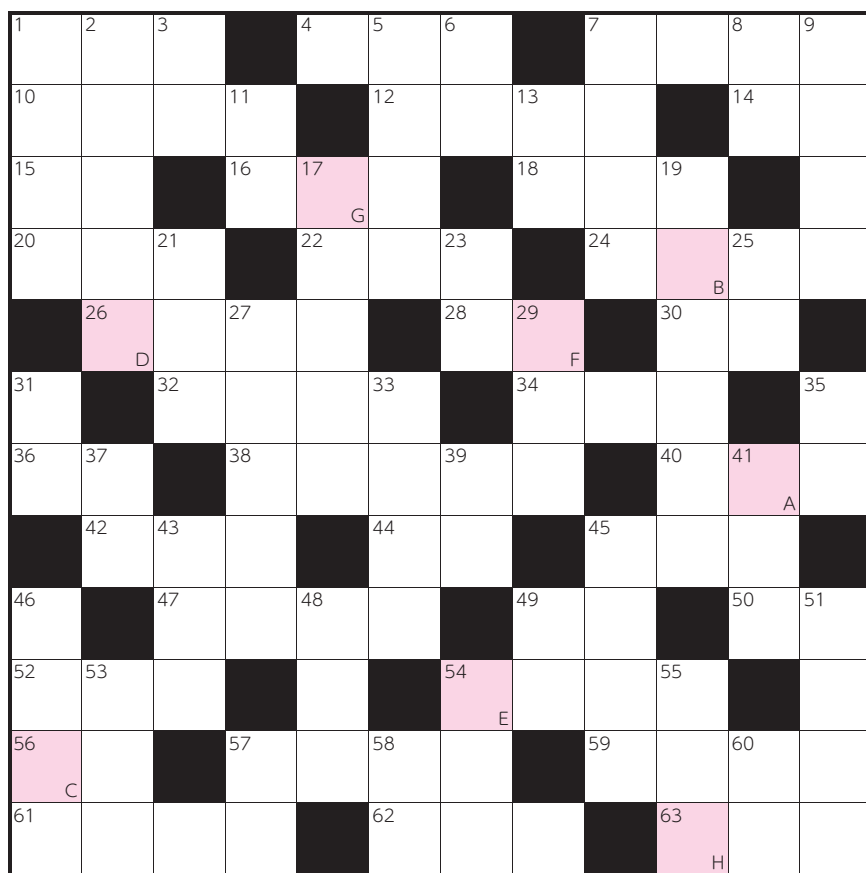
名 寄: 01654-2-4531

智恵文: 01654-8-2111

スキンケアをして

## 美肌美人になろう！

クロスワード



正解者の中から抽選で5名様に  
「商品券」をプレゼント!!

解答は、本誌に添付されたハガキに記入して送付して下さい！  
(FAXでも受付しております。)

01655-3-4037

【応募締め切り・発表】

平成26年2月28日(当日消印有効)  
当選者は次号でお知らせします。

多数のご応募お待ちしております！



出題 白夜書房

「クロスワードランド1月号」より



## 解答欄

|   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E | F | G | H |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

|          |               |               |             |                   |                           |      |                 |         |   |               |                |                          |          |                |              |                    |               |                |    |                |               |       |               |                 |                |        |               |
|----------|---------------|---------------|-------------|-------------------|---------------------------|------|-----------------|---------|---|---------------|----------------|--------------------------|----------|----------------|--------------|--------------------|---------------|----------------|----|----------------|---------------|-------|---------------|-----------------|----------------|--------|---------------|
| 35       | 33            | 31            | 29          |                   | 27                        | 25   | 23              | 21      |   | 19            | 17             |                          | 13       | 10             |              | 9                  | 8             |                | 7  | 6              | 5             |       | 3             | 2               | 1              |        |               |
| 花から取れる甘味 | ふるさとから遠く離れた土地 | 毎日のお肌の○○が大事です | 化学技術。○○○ポップ | 物                 | 保湿効果の高いセラミドも含まれている、ダイエット食 | お宝とか | 寒い方角            | 力士が取ります | へ | 電話は、ダイヤル式からコレ | クな建物           | 神戸などの名物、エキゾチックな建物        | よ        | 頭にきてさ、ちょっと聞いて  | 水やガスなどを通します。 | 取って                | 寝不足はお肌の敵、たっぷり | これより下          | 所？ | いじけているときに行く場所？ | ドルと上がったり下がったり | 鳥の鳴き声 | てて包み込むように     | 洗顔のときは、よくコレを立てて | 子どもの日に空を泳ぐ     | をすべすべに | 精米のときに出来るコレで肌 |
|          |               | 60            |             | 58                | 57                        |      | 55              | 54      |   |               | 53             | 51                       |          | 49             |              | 48                 |               |                | 46 | 45             | 43            | 41    | 39            | 37              |                |        |               |
|          |               | お化け屋敷で○○だめし   | ないよ！        | しわざ。原因。私の○○じゃないよ！ | 本番前の力試しに、○○試験を受ける         | くる   | 問屋などから売り物を買ってくる | おだやかな性格 | う | 丑の日以外にも食べましよう | 肌にはいいビタミンEが豊富、 | カラーゲンから作られ、ゼリーや煮こごりに使われる | 知らぬ○○をする | ふるまい。それらしく見せる。 | り、赤い実        | 抗酸化作用のリコピンたっぷり、赤い実 | 豊富            | 若返りに効くビタミンEが豊富 |    | 森のバターと呼ばれる果実、  | 売約済みや見切りにつける  | わだかまり | 物事が片付いたあとでも残る | シーンとしている        | 正月に飾ったり雑煮にいられた | 座るところ  |               |

## タテのカギ

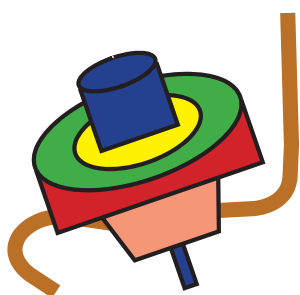


# ヨコのカギ

- 1 老化を抑えるポリフェノール  
が取れる甘い飲み物
- 4 縁の下の力持ちの役目  
ピリッと効きます
- 7 やっかいで困る  
養子○○○○を結ぶ
- 12 カキとかホタテとか  
服を作る材料
- 14 抗酸化作用のイソフラボンが  
たっぷりの、豆腐の原料
- 16 ホテルなどで渡す少額のお金  
大分名産、ビタミンたっぷり  
の柚の仲間
- 18 他人の助けは借りません  
化粧水をつけるときは、手では  
なくてコレに含ませて
- 20 遠くからスイッチオン  
守ってくれる武具
- 22 日焼けに気をつけないと肌に  
出来ちゃう
- 24 一面に広がる雲  
飛行機で運びます
- 26 暑いときは、いっぱい流した  
方が肌にいい
- 28 あちこちから引っ張りだこ！  
肌のしっとりを守るために欠  
かせない
- 30 煙を吐いて走る  
余裕。議論の○○はない
- 32 干したりジャムにしたり、梅  
に似た果実
- 34 サトウキビから取れる、ビタ  
ミンやミネラルたっぷりの甘  
味
- 36 ヒレには美肌の素、コラーゲ  
ンがたっぷり
- 38 引かないようにうがいを  
不当なもうけ
- 40 との時々
- 42 ひらとカタがある  
ガスのコレ締めた？
- 44 おみくじの1等賞  
うろたえあわてる
- 46 小魚代表、老化予防効果があ  
る、コエンザイムQが取れま  
す
- 48 肌を守るビタミンCといえ  
ば、酸っぱいこの果実

## 前回のプレゼント パズルの答え

カネハテンカノマワリモノ



正解者の中から抽選で次の五名の  
方に商品券を贈ります。

(敬称略)

大久保しおり (風連)

示沢 優子 (風連)

木原寿美子 (名寄)

中村加代子 (名寄)

中田美津子 (名寄)

## 声の広場

◎近年の異常気象には苦勞  
にしばなしですね。

収穫期を迎え穏やかなお  
天氣が続くことを祈ってい  
ます。

風連町 古瀬 英子

☆今年の収穫期は雨が多く組  
合員の皆様は大変ご苦勞され  
たと思います。

今年こそは天候に恵まれる  
事をお祈りしています。

◎我が家にきて9年目の猫  
の姫。長男家族が来ると、  
「ブーブー」と唸り声を上  
げ、ストレスで吐いて病院  
へ。何度かそんなことを繰  
り返していましたが、最近  
ではみんな話をしている  
と、聞き耳を立てて側にい  
ます。

孫は今でも姫の側に寄れ  
ませんけど(笑)

風連町 山田 聖子

◎初めて挑戦しました。

名寄市 山中 敏子  
☆今回も是非挑戦してみてく  
ださい。

◎今年も異常気象な年でし  
たね。干ばつ、そして長雨、  
大雨。牧草も雨の欲しい成  
長期に雨がなかった為、大  
幅に減収。今年は草が足り  
るのか心配です(泣)。

これから寒い子牛達の体  
調管理には、とても気をつ  
かいます。牛屋は冬も忙し  
い(涙)

でもかあいい牛達の為に  
毎日コツコツがんばりま  
す！

智恵文 佐藤 由香

☆忙しいとは思いますが、牛  
だけでなく、皆さん人の体調  
管理にも気を付けてくださ  
いね？

◎いつも大変楽しく拝見さ  
せて頂き元気を頂いており  
ます！

智恵文 安田 トシ子

☆ありがとうございます。こ  
れからも皆さんに楽しんで頂  
けるよう頑張ります。

次回からもドンドン投稿を  
お待ちしております!!

国が支える  
安心が大きくなる

# 担い手積立年金

[愛称]

～ しっかり積立て、がっちりサポート 安心で豊かな老後を ～

- ☆ あなたの老後生活への備えは十分ですか？
- ☆ 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- ☆ 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

## ① 65歳の農業者の方の平均余命は 男性22年(87歳)、女性27年(92歳)

老後はお金の心配をせずに暮らしたいものです。その間予測不可能な経済変動があり、思わぬケガや病気もあります。

※ 日本人の平均余命は男性84歳、女性89歳となっており、農業者年金加入者の平均余命の方が長くなっています。

## ② こんなにかかる老後生活 (現金支出で年額約280万円)

高齢農家世帯(世帯主が65歳以上の夫婦2人)の家計費は、現金支出で月額約24万円が必要となります。

## ③ 国民年金の支給額(年額158万円)

農業者の皆さんが加入している国民年金の支給額は、40年加入で月額約6万5千5百円、夫婦あわせて月額約13万1千円です。



このように、豊かな老後生活のためには、国民年金だけでは十分と言えず、**老後の生活費は自分で準備**する必要があります。

サラリーマンは国民年金(基礎年金)の上乗せ年金として、厚生年金や共済年金(厚生年金のモデルケースでは夫婦お二人で年額約280万円、月額約23万円)を受け取っています。

農業者の皆様も、メリットがたくさんある**農業者年金**に加入して安心で豊かな老後を迎えましょう。

### ◆ 農業者年金に加入すれば～農業者年金の支給額(年額)の試算◆

| 加入年齢 | 納付期間 | 運用利回り2.07%の場合 |        | 運用利回り3.00%の場合 |        |
|------|------|---------------|--------|---------------|--------|
|      |      | 男性            | 女性     | 男性            | 女性     |
| 20歳  | 40年  | 75.7万円        | 64.7万円 | 93.8万円        | 80.0万円 |
| 30歳  | 30年  | 51.5万円        | 44.1万円 | 60.8万円        | 52.0万円 |
| 40歳  | 20年  | 31.3万円        | 26.7万円 | 35.3万円        | 30.1万円 |
| 50歳  | 10年  | 14.3万円        | 12.2万円 | 15.4万円        | 13.2万円 |

(注) この試算は、通常加入で保険料月額2万円加入し、65歳までの運用利回りが2.07%及び3.00%、65歳以降の予定利率が1.15%となった場合の試算です。

運用利回り2.07%は制度発足以降の11年度間の運用利回りの平均です。

予定利率1.15%は、農林水産省告示(H25. 4. 1施行)により定められている率です。